Rh その他因子血液型検査	910800
	担当部署
RhＤ以外	輸血

検査オーダー

患者同意に関する要求事項		該当なし
オーダリング手順	1	電子カルテ→指示①→検査→*10.輸血→
	2	
	3	
	4	
	5	
検査に影響する臨床情報		ある Rh 遺伝子によって産生されるＣ抗原と抗Ｃとの反応は、陽性対照として選択した赤血球との反応より弱いことがある。特定の遺伝子によって産生された Ｃ 抗原では弱い反応が観察される場合がある。
検査受付時間		8：15～16：00

検体採取・搬送・保存

患者の事前準備事項	該当なし
検体採取の特別なタイミング	該当なし

検体の種類		採取管名	内容物	採取量	単位
1	EDTA 血	輸血関連検査	ＥＤＴＡ－２Ｎａ（顆粒）	5.5	mL
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					

検体搬送条件	室温
検体受入不可基準	採取容器違いの検体 バーコードラベルの貼られていない検体 採血後 長時間 1～8 ℃以外で保存された検体
保管検体の保存期間	7～10 日

検査結果・報告

<table>
<tr><td colspan="2">検査室の所在地</td><td colspan="5">病院棟 3 階　輸血部</td></tr>
<tr><td colspan="2">測定時間</td><td colspan="5">当日中</td></tr>
<tr><td colspan="2">生物学的基準範囲</td><td colspan="5">該当なし</td></tr>
<tr><td colspan="2">臨床判断値</td><td colspan="5">該当なし</td></tr>
<tr><td colspan="4">基準値</td><td>単位</td><td></td></tr>
<tr><td>共通低値</td><td>共通高値</td><td>男性低値</td><td>男性高値</td><td>女性低値</td><td>女性高値</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">パニック値</td><td>高値</td><td colspan="4"></td></tr>
<tr><td>低値</td><td colspan="4">該当なし</td></tr>
<tr><td colspan="2">生理的変動要因</td><td colspan="4">該当なし</td></tr>
<tr><td colspan="2">臨床的意義</td><td colspan="4">Rh 式血液型で輸血検査として重要なのは D,C,c,E,e の 5 種類である。D 以外の Rh 抗原については通常は検査せずに輸血を実施しているが、臨床的に意義のある抗体として抗 E 抗体の報告が多く、新生児用血性疾患（HDN）や遅発性溶血性輸血副作用（DHTR）の原因となる。不規則抗体が検出されたら、患者の Rh 血液型を輸血前の検体にて検査しておくと抗体の血液型特異性決定の参考となる場合がある。</td></tr>
</table>